

目的

変化が激しく先行き不透明な時代にあって、これからの子どもたちにとっての学びの選択肢の充実や個別最適な学びを実現するために何が必要かを幅広く検討し、関係する様々な主体における取組や県民全体の機運醸成につなげることを目的とする。

開催実績

回	月日	議論のまとめ
第1回	R5.9.1	教育に関するこれまでの当たり前を変えていく、教育システムのあり方を問い直していく
第2回	R6.2.1	教育に関する制度や現在の取組を共に学びながら方策の検討を進める、地域の抱える課題に取り組む
第3回	R6.5.20	これまでの意見を円卓会議の案として示し、県民の皆様の理解を得ていくプロセスに移行していく
第4回	R6.7.4	メッセージ発信や関係団体との意見交換を通じて、関係する様々な主体における取組につなげていく

これまでの議論を踏まえたありたい姿

ありたい姿	主な現状と課題	ありたい姿	主な現状と課題
子どもたちが学校等でやりたいことを実現できている	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが主体的・対話的に学ぶことができる環境が整備されていない</li> <li>子どもたちが先生と向き合う時間が不足している</li> </ul>	小規模校ならではの特色ある学びが実現できている	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少社会における学びの場の確保や質の維持・向上のあり方の検討が急務となっている</li> </ul>
教員が学校等でチャレンジしたいことを実現できている	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務量の多さと多忙感により時間的・精神的な余裕がなく、余白がない</li> <li>外部人材の活用が進んでいない</li> </ul>	「こどもまんなか社会」の実現に向けて様々な機関が連携・協働している	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と学校外の関係者の対話の場・機会が不足している</li> <li>多様な学びに関する情報にアクセスできる環境が整備されていない</li> </ul>
多様性の時代に即した入試制度になっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の興味・関心を深める学びや自分の強みを伸ばしていく学びと、入試制度の整合性がとれていない</li> </ul>	多様な学びの場を信州全体で支えている	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが抱える困難の多様化・複雑化に対する理解が進んでいない</li> <li>学校だけに責任を追及しない社会の寛容さが醸成されていない</li> </ul>

※信州学び円卓会議の詳細は、下記URLまたは右記二次元バーコードからご覧いただけます。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/ken-manabi/manabi/entaku.html>



目的

県民一人ひとりが子どもたちにとって最適な学びのあり方について自分事として考える機運の醸成を図るため、また、円卓会議での議論に資するため、県内各地の多様なフィールドにおける学びの当事者との意見交換を実施。

開催実績

回	日時・フィールド	テーマ	対象	意見概要
1	R5.9.23 (根羽村)	次世代に続く中山間地域での学びづくりとは	根羽村、その他中山間地域での学びに関心・関わりのある方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>学校を地域に開き</u>、大人も学校で児童生徒と共に学ぶ環境が作れないか</li> <li>・ 根羽村では小規模校の特性を活かして<u>学年を超えた、自由度の高い学び</u>を行うことができるのではないかと</li> <li>・ 中山間地域において、先生たちがやりたいことをできるようになるためには、<u>適正な教員配置</u>などの課題がある</li> </ul>
2	R5.10.18 (フリースクール)	子どもの居場所と学びの継続について	居場所・フリースクール関係者、児童・生徒、保護者、教員等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校、フリースクール関係者、保護者、行政がもう一步踏みこんで話せる場があるとよい</li> <li>・ より多くの保護者や生徒に対して、「<u>学校に行けなくても大丈夫</u>」という<u>価値観を広げ、色々な選択肢があることを知ってもらう</u>ことが必要</li> <li>・ <u>学校以外の学びの場、支援機関の認知度が低く、情報発信が必要</u></li> </ul>
3	R5.10.25 (松本県ヶ丘高校)	中学生・高校生・保護者が望むこれからの高校での学びのあり方	中学生、高校生、保護者、教員等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員も生徒も自由度が少なく、主体的に取り組めることが限られている</li> <li>・ <u>学校は自分の「好き」を突き詰められる場所</u>であり、それぞれの夢や将来に合った授業を取り入れてほしい</li> <li>・ 生徒と教員がじっくり話せる環境が重要</li> </ul>
4	R5.11.14 (信濃教育会館)	教員の理想とする、これからの長野県での学びとは	教員、その他の教育関係者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども達が興味関心を持ち自発的に学ぶことを実現するには、<u>教材研究をする時間の不足、保護者への対応に追われる、教員の人数不足、へき地の学校への教員配置等の課題</u>がある</li> <li>・ 子ども達が学びたいことに対して教師が伴走して支えることが理想ではあるが、<u>受験等保護者の関心と両立できるか疑問</u></li> <li>・ 教師や子どもたちが失敗を恐れずに様々なことに<u>チャレンジできる機運の醸成</u>が必要</li> </ul>

回	日時・フィールド	テーマ	対象	意見概要
5	R5.12.6 (軽井沢風越学園)	私たちが考える理想の「学びの環境」とは	軽井沢風越学園の生徒、教員、保護者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>生徒が自分で学びたいことを見つけ、異学年で共に学びながら思ったことを発言し、互いに肯定し合う環境が重要</u></li> <li>・ <u>地域の大人と関わり、大人と子どもという枠に縛られずに互いに学ぶことができる</u>とよい</li> <li>・ <u>学びの場を学校に限定する必要はなく、一人ひとりの得意分野が評価される仕組み</u>があるとよい</li> </ul>
6	R6.1.17 (信州大学教育学部)	教員の魅力と私たちが考える教育の未来	大学生、大学院生、教員、その他の教育関係者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「教員になりたい」と言うと色々な人に大変だよと止められる。<u>学校現場の大変さを伝えすぎると教職離れがすすむのでは</u></li> <li>・ 初任者であることの不安。やりたいことはあるがどうしたら初任者の壁を越えられるか</li> <li>・ 時間割のシステムが当たり前になっているが、<u>子どもたちが授業を選んで学べるとよい</u></li> </ul>
7	R6.3.7 (特別支援学校)	すべての子どもを包み込む学びの環境とは	特別支援学校生徒、保護者、教員その他の教育関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>大人の視点だけで子どもの学びの環境を決めるのではなく、子どもの視点も取り入れて一緒に考えることが重要</u></li> <li>・ <u>子ども自身が学びの環境や自分の居場所を「選択できる」こと</u>、そのために地域や社会が受け入れる体制を整え、選択肢を増やすことが重要</li> <li>・ 選択肢を増やすためには、情報提供体制や学校の人的・設備的サポートの充実が必要</li> </ul>
8	R6.5.13 (インターナショナルスクール)	「私の学び」を実現するためにできること	高校生、保護者、教員等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校の中だけで学びを完結させず、<u>地域や異年齢、異文化の人とのコミュニケーションが「広がり」や「深み」のある学びに繋がる</u></li> <li>・ 私立学校と公立学校がお互いの長所を伸ばしあい、短所を補完していくことで、<u>地域全体として子どもの学びを高めていける</u></li> <li>・ <u>子どもが興味を持って学んだことを、どう学習指導要領の内容に繋がれるのかを教員が考えること、それを教員が心にゆとりをもって考えられる環境が重要</u></li> </ul>

(R6.4.1現在)

職名	氏名
信州大学教職支援センター准教授 (信州学び円卓会議座長)	荒井 英治郎
軽井沢風越学園校長	岩瀬 直樹
松本大学教育学部教職支援室専門員 (前長野県飯田養護学校校長)	浦野 憲一郎
根羽村長	大久保 憲一
(公社) 信濃教育会会長	大日方 貞一
(学) 白馬インターナショナルスクール 理事長	草本 朋子
長野県市町村教育委員会連絡協議会会長 長野市教育長職務代理者	近藤 守
NPO法人Hug代表	篠田 阿依

職名	氏名
山ノ内町教育長	竹内 延彦
上田市立第五中学校校長	畠山 正幸
須坂市長	三木 正夫
松本市立波田小学校校長	三輪 千子
信州大学教育学部学部長	村松 浩幸
長野県野沢北高等学校校長	柳沢 敬
長野県知事 (オブザーバー)	阿部 守一
長野県教育長 (オブザーバー)	武田 育夫